証券コード：4971

MEXTAGE

第51期　株主通信

2019年1月1日から2019年12月31日まで

P.1 2019年度の業績振り返りと今後の事業戦略
P.3 2019年度の業績を教えてください
P.4 メックの製品が使用される技術分野をご紹介
P.5 財務指標
P.6 会社概要、株式の状況

界面価値創造

Creating and Fostering Value
at Various Interfaces

メック株式会社

社長に聞く!

2019年度の業績振り返りと今後の事業戦略

わたしたちは
「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」
を信条に、自由に着想し、
グローバルな事業活動を通して
界面価値創造を実現することで
豊かで潤いのある社会と
環境づくりに貢献します。

代表取締役社長
前田和夫

5G普及に貢献する技術を活かして、長期スパンでビジネス伸長を目指す

スマートフォン市場の低迷、世界経済の減速などがネガティブ要素。一方で5G市場、AI分野での需要が拡大

2019年度を振り返りますと、2つの大きな転換点がありました。1つは世界的にスマートフォン市場の成長が停滞したこと。もう1つは米中貿易摩擦の影響により、世界経済が減速したということです。この2点は世界中のさまざまな企業に影響を及ぼしました。当社も例外ではなく、結果として営業的に苦戦を強いられ、2019年8月には業績を下方修正せざるを得ない状況となりました。その意味では2019年度の事業環境は、決して良好な状況ではありませんでした。しかし、その中で改めて将来を見ると、5Gという当社グループの製品、技術を活かせる分野で需要が本格的に拡大してきています。5Gネットワークを構築する動きの中で、関連企業がしっかりと投資を実施しているのです。これらの動きは、今後当社の業績拡大に大きく寄与するものと考えております。

密着向上剤「CZシリーズ」は、5G関連のパッケージ基板で拡大

5Gは世界中で広がっていくことは確実で、その特徴である高速大容量を実現するためには、インフラ整備が必要です。そのため、より高性能なデータセンターやエッジコンピューティングのサーバーが必要となります。また、5G用のスマートフォンには特殊なアンテナが必要となり、そのアンテナを搭載するためにパッケージ基板が使われます。これらのサーバーやスマートフォンが拡大することで、これまで以上に高密度なパッケージ基板が必要となります。当社の密着向上剤CZシリーズはパッケージ基板で高いシェアを獲得しています。5Gの普及により、パッケージ基板を支えているCZシリーズは拡大すると考えています。

エッチング剤「EXEシリーズ」は、HDI基板向けで拡大のチャンス

EXEシリーズは、ディスプレイ向けCOFの回路配線形成で高いシェアを誇っている薬品です。現在、スマートフォンのHDI基板の回路配線を作る工程での使用が検討されており、採用されることで業績へのポジティブな影響を期待しています。

経営戦略としてのESG、そしてH(人財)への取り組み

企業の長期的な成長のために「ESG」というキーワードが注目を集めています。当社はESGの各要素はもちろん、H(Human resources、人財)を企業競争力の重要な要素として捉え、研修、自己啓発支援などに取り組んでいます。従業員が、それぞれ独自性、自主性を持って仕事することが、最高のアウトプットにつながると信じ、今後も取り組みを推進します。

グローバル戦略について

タイの新子会社が稼働を開始し、製品をようやく製造できるようになりました。今後は、タイを始めとする東南アジア地域でのビジネス市場をより発展させるための活動を、順次展開していきます。また、予定していた中国での新子会社設立は、費用が想定以上に膨らむことから見直し、グローバルな視点で新規製造拠点の検討を進めます。

連結配当性向の考え方と設備投資計画について

配当につきましては従来どおり、安定配当が基本。連結配当性向30%を念頭に考えています。また、自己株式の取得についてはこれまでのように臨機応変に検討してまいります。今後の設備投資計画としては東初島研究所(旧研究所)の改修、危険物製造棟・危険物倉庫改築の実施を決定。これらの工事の完成により、製品開発スピードのアップを図ります。

株主の皆様へ、メッセージ

2019年度の業績を振り返ると、いささか残念な結果となりました。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響、通商問題等先行きの懸念はある一方で、IoTやAI、それらを支える5G市場が本格的に動き出すなど、期待が持てる兆しも見えてきています。当社は5Gの普及拡大に貢献できる技術を有しています。この技術は、社会の課題解決並びに社会貢献に直結するものであり、非常に価値のあるものだと自負しております。5G市場の伸長に呼応する形で当社の薬品に対するニーズも、今後ますます高まってくるものと考えておりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。
www.mec-co.com/ir/library/

2019年度のポイント

押さえておきたい2019年度のポイントを3ポイントにまとめています。ぜひ参考にしてください。

1. 事業環境はネガティブ要素の影響を受けたが、5G市場の立ち上がり等から「CZシリーズ」の需要は拡大中
2. スマートフォン向けの基板(HDI)に「EXEシリーズ」が順次採用される見込み
3. ESG並びにH(人財)について積極的な取り組みを推進

2019年度の実績と2020年度の予想

	2019年度	2020年度(予想)	増減
売上高 (百万円)	10,865	11,600	6.8% 増
営業利益 (百万円)	1,637	1,700	3.8% 増
経常利益 (百万円)	1,722	1,750	1.6% 増
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,236	1,250	1.1% 増
1株当たり当期純利益 (円)	65.16	65.87	—

用語解説

■ **HDI**(High Density Interconnection)**基板**
主に、スマートフォン向けに使用される高密度な電子基板。

■ **エッジコンピューティング**
全データをクラウドに送って処理するのではなく、「現場(エッジ)」で、できる限り処理を行い、必要なデータだけをクラウドに送って処理するという考え方。応答速度を高められることがメリット。

■ **ESG**
企業の成長には「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(企業統治)」という3つの観点、要素が重要だという考え方。各単語の頭文字を取って「ESG」と呼ばれている。

■ **COF**(Chip On Film)
フィルム状基板に直接半導体チップを搭載する実装技術。

■ **IoT**(Internet of Things)
あらゆるモノがインターネットにつながり、人々の暮らしや産業を変える仕組み。

■ **AI**(Artificial Intelligence)
人工知能。人間の知的営みをコンピューターに行わせるための技術。

Q 教えて! 2019年度の業績を教えてください

業績の推移とあわせて 地域別の販売動向をご紹介

Q 2019年度の事業環境と業績について

A ディスプレイ向けが堅調、その他は低調に推移しました。

電子部品を搭載する電子基板業界は厳しい状態にあるものの、第4世代(4G)から高速大容量の第5世代(5G)への切り替えに注目が集まる移動通信システムは商用化に向け取り組みが活発化しており、特に高性能パッケージ基板向けの生産体制強化に向けた設備投資も進展しております。また、自動車の自動運転技術の開発も着実に進んでおります。このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。エッチング法で高密度配線形成を実現する「EXEシリーズ」は薄型テレビを中心とするディスプレイ向けに高いシェアを獲得し、また、スマートフォン向けにも広がっていることから堅調に推移しました。パッケージ基板向けに高いシェアを持つ密着向上剤「CZシリーズ」はほぼ横ばいに推移しました。一方、多層電子基板向け「BOシリーズ」、ディスプレイ向け「SFシリーズ」の販売は低調な結果となりました。結果、当連結会計年度の売上高は108億65百万円(前年同期比4.1%減)営業利益は16億37百万円(同26.4%減)、売上高営業利益率は15.1%(同4.5ポイント減)経常利益は17億22百万円(同23.0%減)、税金等調整前当期純利益は17億10百万円(同26.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は12億36百万円(同30.5%減)となりました。

Q 製品別の販売状況を教えてください。

A EXEシリーズは、堅調に推移しました。

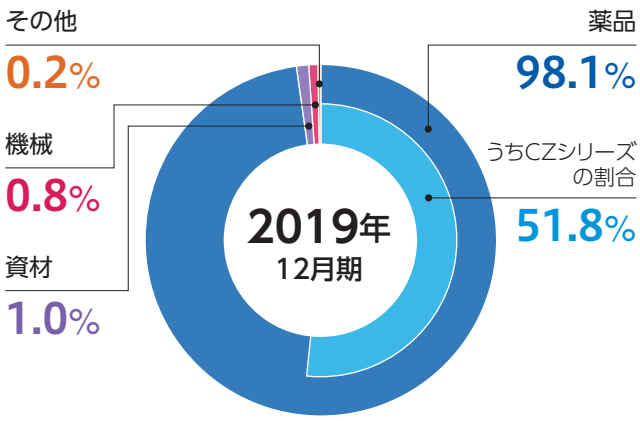
CZシリーズの売上は55億17百万円(前年同期比1.0%減)、薬品売上高に占める割合は51.8%でした。EXEシリーズは12億94百万円(同4.3%増)、SFシリーズは9億80百万円(同13.7%減)、BOシリーズは6億85百万円(同11.6%減)でした。

Q 地域別の販売動向はいかがでしたか?

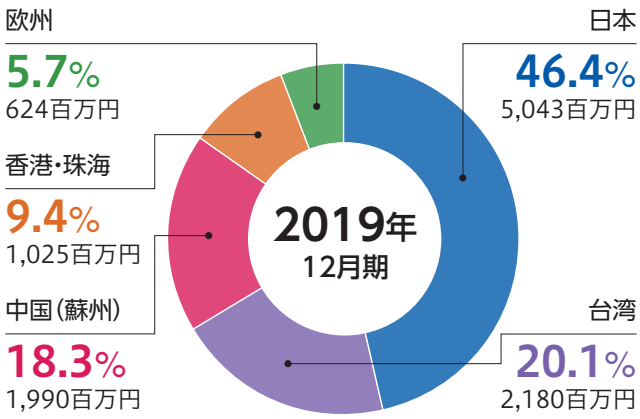
A 各地域において市場の減速の影響を受けました。

地域別売上高(連結)における海外売上高比率は55.2%(前年同期比0.8ポイント増)となりました。セグメント別では各地域においてスマートフォンや車載基板の販売および仮想通貨市場の減速により売上が減少しましたが、香港・珠海での売上は堅調に推移しました。

売上高に占める品目別割合(%)



地域セグメント別売上高比率(%)/売上高(百万円)

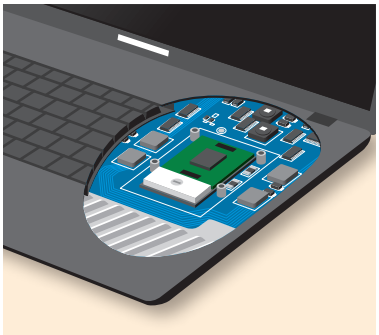


こんな所にメック製品

メック製品は身の回りのさまざまな電子基板に使われています。
今後、5Gの到来によりIoT化が進み、電子基板は増大していくと期待されています。

CZシリーズ

パッケージ基板※1に使われる表面処理剤。熱による電子基板の故障を防ぐのに使われ、サーバー、スマートフォン、パソコンに使用されています。今後、電子機器の増大にともない更なる需要の拡大が期待されます。



EXEシリーズ

フレキシブル基板※2に使われる表面処理剤。細い金属（銅）配線を作るのに使われ、テレビなどのディスプレイに使用されています。今後、スマートフォン向けの基板（HDI）への拡大が期待されます。

Vボンド

一般的な電子基板に使用される表面処理剤。熱による電子基板の故障を防ぐのに使われ、スマートフォン、車の電子基板に使用されています。今後、電子機器の増大にともない需要の拡大が期待されます。

※1 パッケージ基板：CPU等の半導体を電子基板へ接続するための基板　※2 フレキシブル基板：ポリイミドフィルムなどの柔軟性のある材料で作られる基板

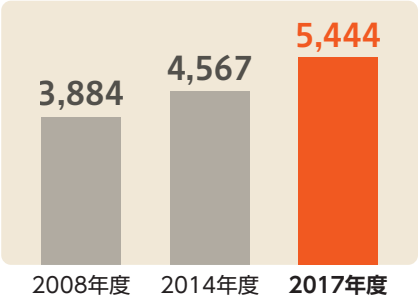
タイ子会社、生産開始

タイ子会社を2019年7月に竣工し、
9月より生産を開始いたしました。
今後、市場拡大が見込まれる東南アジア地区の
製造および販売の中核拠点と位置づけ、
販売拡大に努めてまいります。

タイへ進出する日系の企業数は、右肩上がりに増加中

タイを東南アジアの拠点として選定した主な理由は、タイの製造業がアジアにおける自動車生産の中核拠点として機能していること、そして集積回路や半導体が主な輸出品目であること等です。タイへ進出している日系企業は5,444社（2017年時点）。また国際協力銀行（JBIC）の調査では、中期的（今後3年程度）有望事業展開先国・地域の4位となるなど、タイは東南アジアの進出有望国として期待を集めている国となっています。

■ 日系進出企業数の推移



出典：日本貿易振興機構（JETRO）「タイ日系企業進出動向調査 2017年」調査結果

財務指標

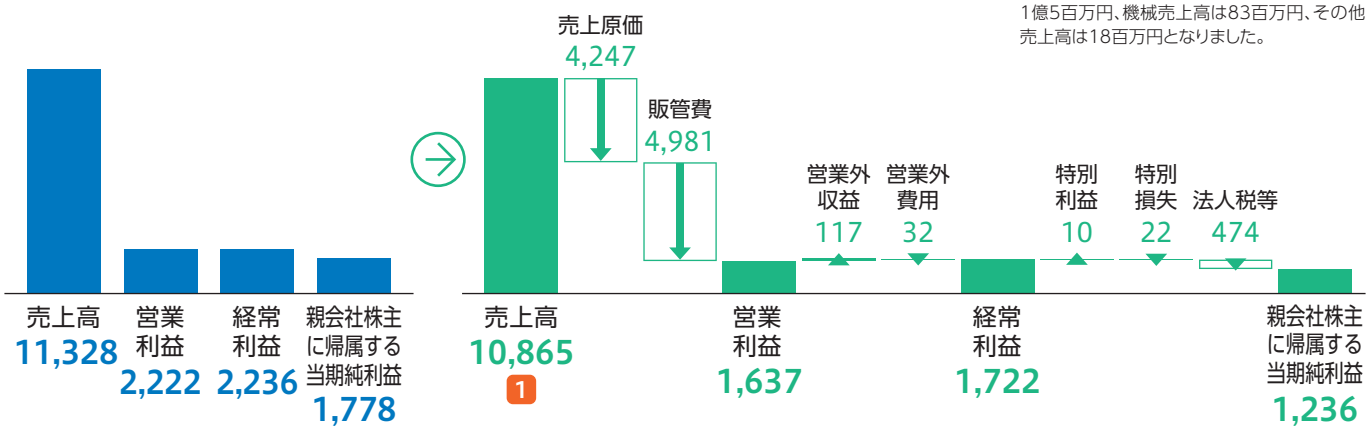
詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。 www.mec-co.com/ir/library/

連結損益計算書の概要(百万円)

前期
(2018年1月1日～2018年12月31日)

当期
(2019年1月1日～2019年12月31日)

1 売上高
薬品売上高は106億57百万円、資材売上高は1億5百万円、機械売上高は83百万円、その他売上高は18百万円となりました。

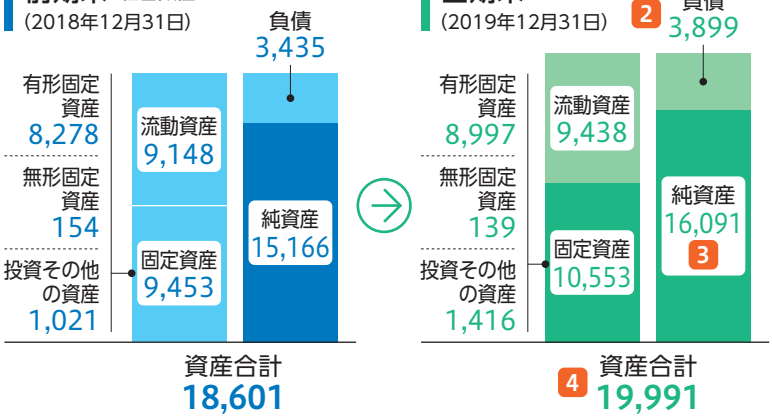


連結貸借対照表の概要(百万円)

*2019年度より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用しています。

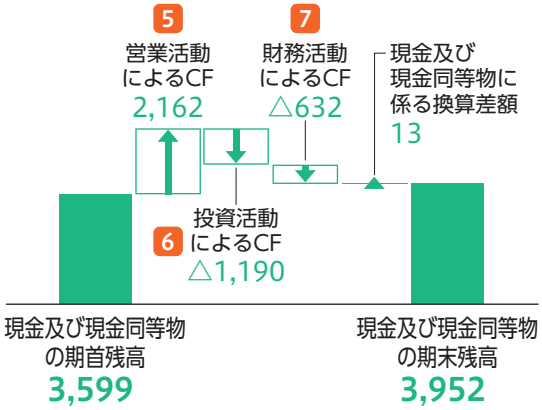
前期末 組替数値
(2018年12月31日)

当期末
(2019年12月31日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(百万円)

当期
(2019年1月1日～2019年12月31日)



2 負債
負債は長期借入金の減少、危険物製造棟製造棟や旧研究棟工事に係る設備関係支払手形が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億64百万円増加し、38億99百万円となりました。

3 純資産
純資産は利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億25百万円増加し、160億91百万円となりました。

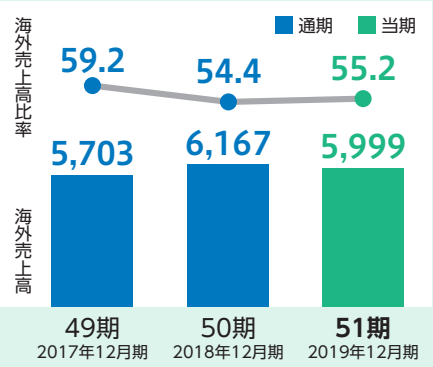
4 資産合計
資産は売上債権や仕掛金の減少、タイ王国子会社に係る有形固定資産、危険物製造棟や旧研究棟工事に係る建設仮勘定、時価上昇による投資有価証券が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ13億90百万円増加し、199億91百万円となりました。

5 営業活動によるCF
営業活動の結果得られた資金は、21億62百万円。これは主に税金等調整前当期純利益が17億10百万円、減価償却費が6億92百万円あったものの、資金の減少要因として法人税等の支払額が5億21百万円計上されたこと等によるもの。

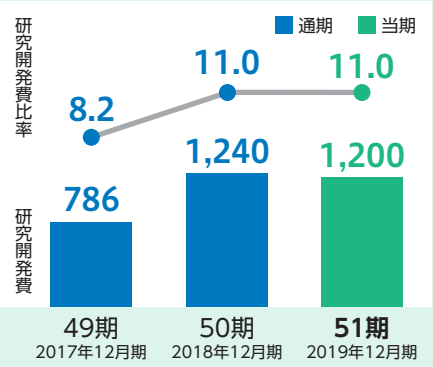
6 投資活動によるCF
投資活動の結果使用した資金は、11億90百万円。これは主に有形固定資産の取得による支出が8億70百万円計上されたこと等によるもの。

7 財務活動によるCF
財務活動の結果使用した資金は、6億32百万円。これは主に配当金の支払いが4億98百万円あったこと等によるもの。

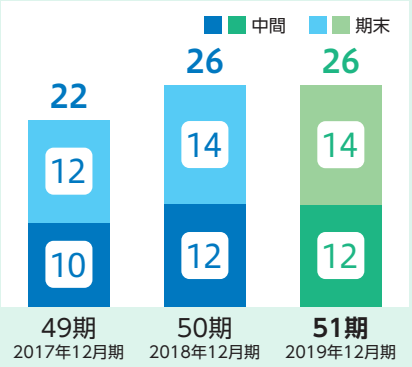
海外売上高(百万円)／比率(%)



研究開発費(百万円)／比率(%)



1株当たりの配当金(円)



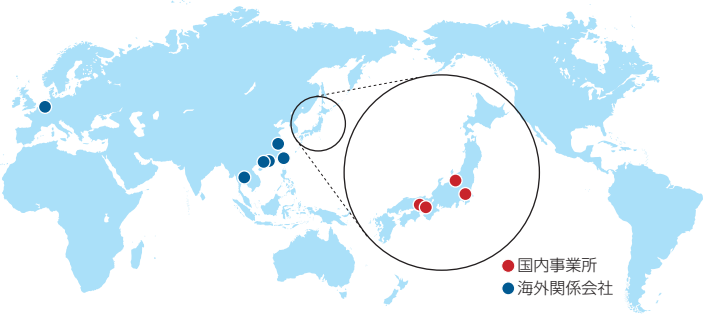
会社概要 ■ 2019年12月31日現在

■ 会社概要

商号	メック株式会社
本社事務所所在地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
設立年月日	1969年（昭和44年）5月1日
資本金	594,142,400円
事業内容	電子基板・部品製造用薬品の製造販売 および機械装置、各種資材の販売

■ 取締役および執行役員

代表取締役社長	前田 和夫
取締役専務執行役員	長井 眞
取締役常務執行役員	中川 登志子
取締役（社外）	橋本 薫
取締役 監査等委員会委員長（社外）	佐竹 隆幸
取締役 監査等委員（社外）	田中 明子
取締役 監査等委員（社外）	髙尾 光俊
常務執行役員	北村 伸二
執行役員	中村 幸子
執行役員	武村 文夫
執行役員	門林 安津子
執行役員	高垣 秀一
執行役員	住友 貞光



■ 国内事業所

本社・尼崎工場
〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号

東京営業所
〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階

長岡工場
〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36

西宮工場
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号

■ 海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli Dist., Taoyuan City 320, Taiwan（R.O.C.）

MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium

MEC（HONG KONG）LTD.
No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong

MEC FINE CHEMICAL（ZHUHAI）LTD.
530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China

MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS（SUZHOU）CO., LTD.
31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121,China

MEC SPECIALTY CHEMICAL（THAILAND）CO.,LTD.
31 Moo 1 Rojana Industrial Park T. Banchang, A. Uthai, Ayutthaya 13210.

株式の状況 ■ 2019年12月31日現在

■ 株主状況

発行済株式総数	20,071,093 株
株主数	6,915 名

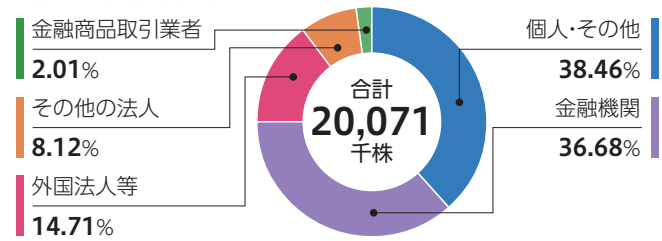
■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,461	18.05
株式会社マエダホールディングス	1,199	6.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,120	5.84
前田耕作	1,005	5.24
前田和夫	726	3.79
野村信託銀行株式会社（投信口）	680	3.54
メック取引先持株会	549	2.86
第一生命保険株式会社	429	2.23
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	407	2.12
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	393	2.05

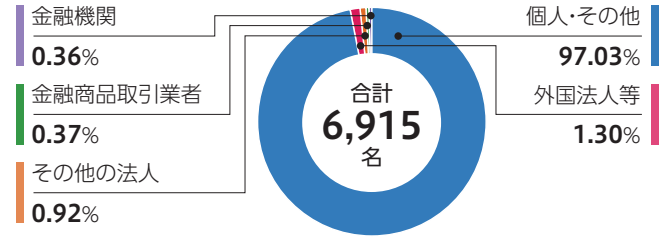
※当社は自己株式を895千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率です。

■ 株式分布状況

所有者別所有株式数



所有者別株主数



※「個人・その他」には自己株式895千株を含んでおります。

メック株式会社

本社事務所／〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
TEL. 06-6401-8160　FAX. 06-6401-8165
URL　www.mec-co.com/

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先※までご連絡ください。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株式名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先※	TEL. 0120-782-031（通話料無料）
インターネットホームページURL	www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL　www.mec-co.com/ir/denshi/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

■ 株主優待情報

保有株式数	優待内容
1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

＊毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象といたします。

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆様にそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス（ニュースメール配信サービス）を行っています。

ご希望の株主様には、こちらのサービスの送信先メールアドレス（携帯電話のメールアドレス不可）を、当社ホームページまたは、RIMSNET（rims.tr.mufg.jp/）から、簡単にご登録いただけます（無料）。

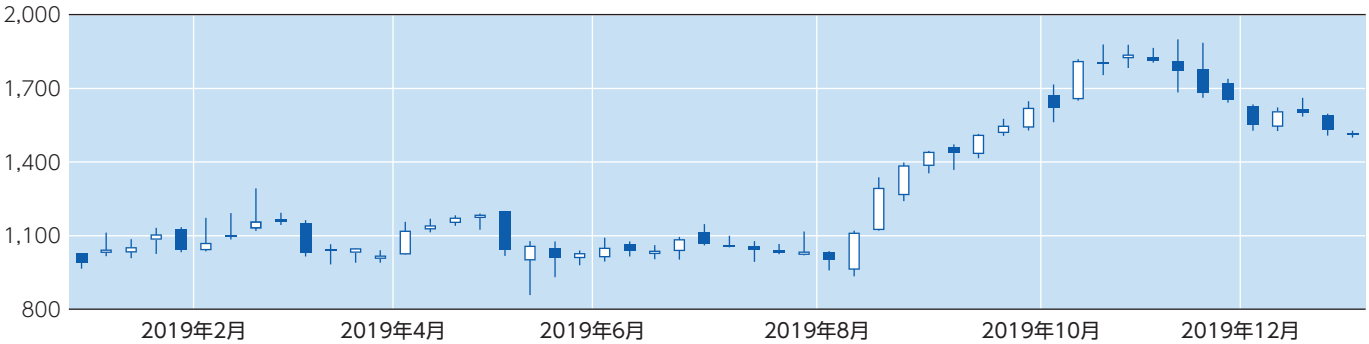
アンケートのお願い

当社では、株主の皆様とのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めていきたいと考えています。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

ホームページのご紹介　www.mec-co.com/

当社のホームページでは
プレスリリース、株主通信、コーポレート・ガバナンス報告書　他
各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

株価の推移（2019年1月～2019年12月）

（単位：円）